


非常事態

本年2月以降 死亡災害が毎月連続発生

死亡災害緊急警報発令！ (令和8年4月)

— その設備・作業方法 正しくリスクを見積もっていますか !! —

 長野労働局・小諸労働基準監督署

小諸労働基準監督署管内(小諸市、佐久市、南佐久郡、北佐久郡)においては、令和8年2月から3か月連続、業務従事中の死亡災害が発生し、4人の尊い命が失われました。

発生原因等は調査中ですが、死亡災害の背景として、「大丈夫だろう」という思い込みで、適正な機械、作業方法の選定を怠り、リスクアセスメント(危険・有害性の洗い出しと対策の策定)による労働災害のリスク低減もおろそかにしたまま、作業を進めてしまったと思われます。

小諸労働基準監督署では、これら事態を受け、

『労働現場での、死亡災害緊急警報』

を発信し、各事業場に対し、根本的な安全対策ができているかの確認措置の徹底を求めます。

出勤した人が無事で帰ることが当たり前 = 労働災害で悲しみ、苦しむ人をゼロにしましょう！

小諸労働基準監督署管内で令和8年2月以降に発生した死亡災害事例

2月

国道の待避所においてトラックのタイヤにチェーンを巻いていた被災者が、スリップした一般車両に激突された。



3月

ドラグ・ショベルのバケットを押し当てて立木を倒したところ、付近で別の作業を行っていた被災者に伐倒木が激突した。



4月【速報内容(未確定)】

木の枝を切る作業において、樹上作業員1人が地上約10mの高さにある枝にロープを緊結し、滑車を介して被災者2人が地上でロープを保持していたが、切った枝の重みで、2人が引きずられて木に激突した。

上記イラストはイメージです。
4月の災害は速報のため、
イラストはありません。